

単元名 につぼんのうた みんなのうた(4)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くことができるとともに、呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律のもつリズムや流れを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聴き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。
- (3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

## 標準的な展開例

03070205\_001

【教材名】 ふじ山 (歌唱 共通教材) (P. 40～P. 43)

【準備等】 範唱CD, 拡大譜, 拡大した歌詞

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「ふじ山」(共)を情景を想像しながら歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 曲の気分を感じ取る。</li> <li>★ 高い山によびかけるような気持ちで歌おう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書の写真を見ながら範唱を聴き、曲の感じをつかむ。</li> </ul> </li> <li>○ 歌詞を理解して歌詞唱する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌詞を音読し、教科書の写真などを利用して、言葉を確かめる。</li> <li>・ 歌詞の表わす情景や気持ちについて意見を出し合い、理解して歌詞唱する。</li> </ul> </li> <li>○ 旋律の特徴に気付いて歌詞唱する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 段ごとに旋律のリズムを手で打ち、気付いたことを交流する。</li> <li>・ 各段の旋律の、音の高さに合わせて手を動かし、旋律の流れを確かめる。</li> <li>・ 一番強く歌いたいところはどこか、意見を出し合いながら、歌い方を試す。</li> </ul> </li> <li>○ 声の出し方を工夫する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体の力を抜いたり、喉の奥を開くことを意識したりする。</li> <li>・ 高い山に向かって呼びかけるような、遠くに届くような歌声を探して歌う。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士山について知っていることや、見たり登ったりした経験を発表させる。</li> <li>・ 「高い山によびかけるような」とはどんな声なのかを範唱から感じ取らせる。</li> <li>・ 歌詞の内容から、富士山の雄大さをイメージさせ、歌い方の工夫に結びつける。P. 43の声の出し方も参考にさせる。</li> <li>・ 音程や付点の付いている音符のリズムに注意させる。</li> </ul> <p>【評】 歌詞や曲想を生かした表現活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 具体的なイメージをもたせることで児童の声は変わる。例えば、「ふじはにつぼん～」の「ふ」を、目標を決めてそこまで声を飛ばすようにイメージして伸ばすよう、助言する。</li> <li>・ 拡大譜に、工夫したことを書き込み意識させる。</li> </ul> <p>【評】 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや曲想と歌詞の内容の関わりを捉える活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 拡大した歌詞を見ながら、遠くの山に呼びかけるような気持ちで歌うとよい。</li> </ul> <p>【評】 旋律のもつリズムや流れを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら曲想にふさわしい歌い方を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>【評】 呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付けて歌う活動を通して「技能」を評価する。</p>

【 備 考 】